

# 2012年3月期 第2四半期決算説明会

(2011年4月1日~2011年9月30日)

2011年12月1日



### 中間決算ハイライト・通期見通し



	中間								
	計	画	実績		計画比		通期見通し		
	(百万円)	構成比 (%)	(百万円)	構成比 (%)	(百万円)	增減比 (%)	(百万円)	構成比 (%)	
売 上 高	3,805	100.0	3,905	100.0	+100	+2.6	8,365	100.0	
営 業 利 益	140	3.7	189	4.8	+48	+34.2	466	5.6	
経 常 利 益	115	3.0	170	4.4	+54	+46.9	418	5.0	
当期純利益	51	1.4	63	1.6	+11	+22.9	169	2.0	

- > 売上高、営業利益、経常利益、純利益さらに利益率も計画を上回る
- 外部環境が不透明であること、教室展開の費用が下期に増加する傾向にあることから、 通期の業績見通しは期初計画を据え置き

# 損益の状況



【単位:百万円、%】

			計画	実績	計画比	達 成 率	前年比
売	上	高	3,805	3,905	+100	102.6	+12.2
営	業利	益	140	189	+48	134.2	+129.0
経	常利	益	115	170	+54	146.9	+140.1
当	期純	利益	51	63	+11	122.9	_

#### > 売上高について

• 教育関連事業のなかでも個別指導部門が好調に推移

#### > 利益について

- 人件費等の費用が増加したものの売上高の伸びにより吸収し、営業利益・経常利益は30%以上計画を 上回る
- ・ 法人税の負担が増加したものの、当期純利益は計画を22.9%上回る

# セグメント別売上高



【単位:百万円、%】

				計画	実 績	計画比	達成率	前年比
教育	関連	事	業	3,688	3,787	+98	102.7	+12.9
クラ	ス 指 導	部	門	1,763	1,681	∆82	95.3	+3.3
個	引指導	部	門	1,920	2,097	+176	109.2	+22.0
そ	Ø		他	4	9	+4	188.2	+20.4
不動	産 賃 貸	事	業	27	28	+1	103.9	△0.3
飲	食 事		業	89	89	+0	100.6	△9.5

#### >教育関連事業

- クラス指導部門は1人当たりの単価が計画を下回ったため売上は計画に及ばなかったが、 前年比では3.3%増加
- ・個別指導部門は塾生数が計画を上回ったことに伴い、売上も計画を達成、さらに前年比でも22.0%増加

#### >不動産賃貸事業・飲食事業

・不動産の自社利用スペースの増加ならびに不採算飲食店舗の閉鎖による影響で前年を下回るものの、予想の範囲に収まり、計画を達成

# ブランド別売上高



【単位:百万円、%】

			•	<u> </u>	. H > 1 1 / 0 1
	計画	実績	計画比	達成率	前年比
クラス指導部門合計	1,763	1,681	Δ82	95.3	+3.3
開成教育セミナー	1,327	1,286	△41	96.9	+6.6
エール進学教室	58	61	+2	104.7	+6.2
京大セミナー	246	223	Δ22	90.8	△5.5
F E L I X	114	91	△23	79.9	△14.5
そ の 他	15	17	+2	113.4	△6.1
個 別 指 導 部 門 合 計	1,920	2,097	+176	109.2	+22.0
フリーステップ・ソフィア	1,706	1,840	+134	107.9	+21.4
代ゼミサテライン予備校	125	153	+27	121.9	+26.2
アイナック	85	101	+16	119.2	+28.8
そ の 他	3	1	Δ2	39.0	△36.8

(クラス指導部門の「その他」は主に学校法人等への派遣事業、個別指導部門の「その他」は家庭教師派遣事業等を示す)

# 費用内訳



【単位:百万円、%】

			計画	実績	計画比	達成率	前年比
人	件	費	1,975	1,995	+20	101.0	+12.1
家		賃	582	579	Δ2	99.6	+5.9
教 室	等設備找	投 資 費 用	48	65	+17	135.7	△4.7
広	告 宣	伝 費	149	154	+4	103.2	+33.1
そ	の他	費用	908	920	+11	101.3	+3.7
売上原	西•販売管	理費合計	3,664	3,716	+52	101.4	+9.3

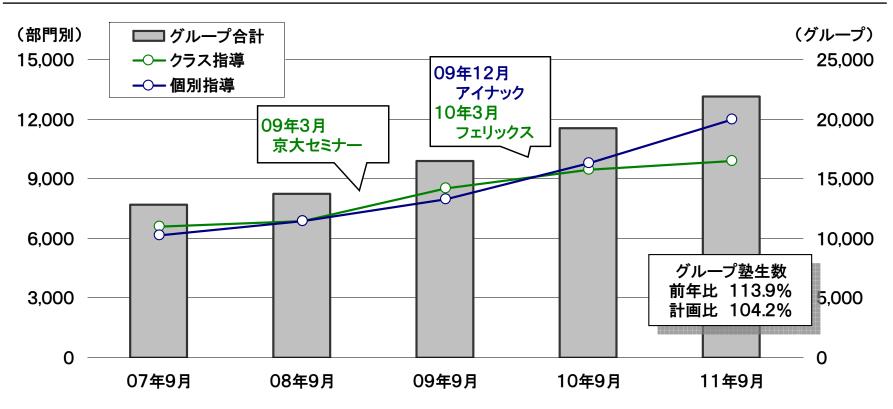
#### > 人件費

- 売上高の伸びに伴い増加するもののほぼ計画の範囲に収まる
- > 教室等設備投資費用
  - 9月末までの新規開校は計画通りにすすむ
  - 塾生の増加に伴い、既存教室の増床・改装(大阪府5教室)を実施、投資費用は計画を超過する
- > その他の費用については、ほぼ計画通りにすすみ、売上高の伸びで吸収できる範囲に収まる

# グループ塾生数の推移



	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
-◇- クラス 指 導 部 門	6,619	6,892	8,506	9,444	9,908
── 個別指導部門	6,167	6,848	7,991	9,761	11,962
□ グループ塾生数	12,786	13,740	16,497	19,205	21,870



# 部門別グループ塾生数の状況

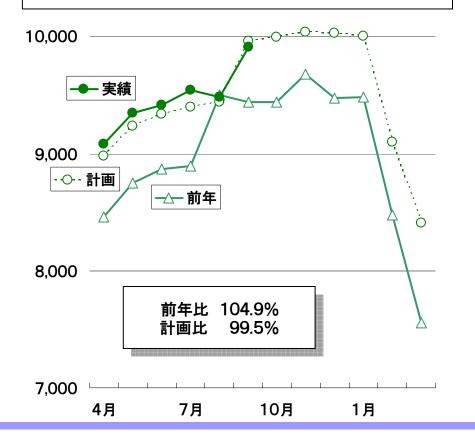


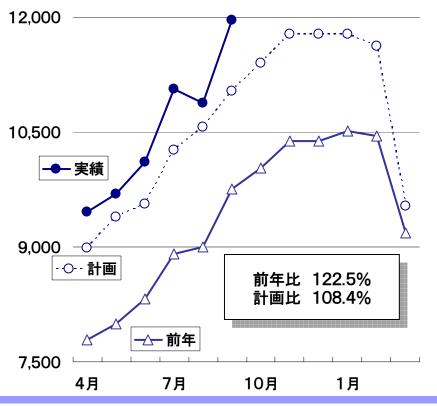
#### 【クラス指導部門】

- ・期初は計画通りに推移したものの、夏期特別授業での取り込みが計画に及ばす、9月の塾生数は計画を下回る
- 9月時点で約5%前年を上回って塾生数は増加

#### 【個別指導部門】

- ・例年より早めにキャンペーンを実施したことで 塾生の取り込みに成功
- •6月には、部門別塾生数で初めて1万人の大台 を突破し、好調に推移





## 教室展開の状況



教室名	所在地	開校月(予定月)	開講ブランド
古川橋教室	大阪府門真市	2011年7月	個別指導学院フリーステップ
富士見台教室	東京都中野区	2011年7月	個別指導学院フリーステップ
春木駅前教室	大阪府岸和田市	2011年8月	個別指導学院フリーステップ (FC教室の直営化)
河内山本教室	大阪府八尾市	2011年11月	開成教育セミナー
保谷教室	東京都西東京市	2011年11月	開成教育セミナー・個別指導学院フリーステップ
井 荻 教 室	東京都杉並区	2011年11月	個別指導学院フリーステップ

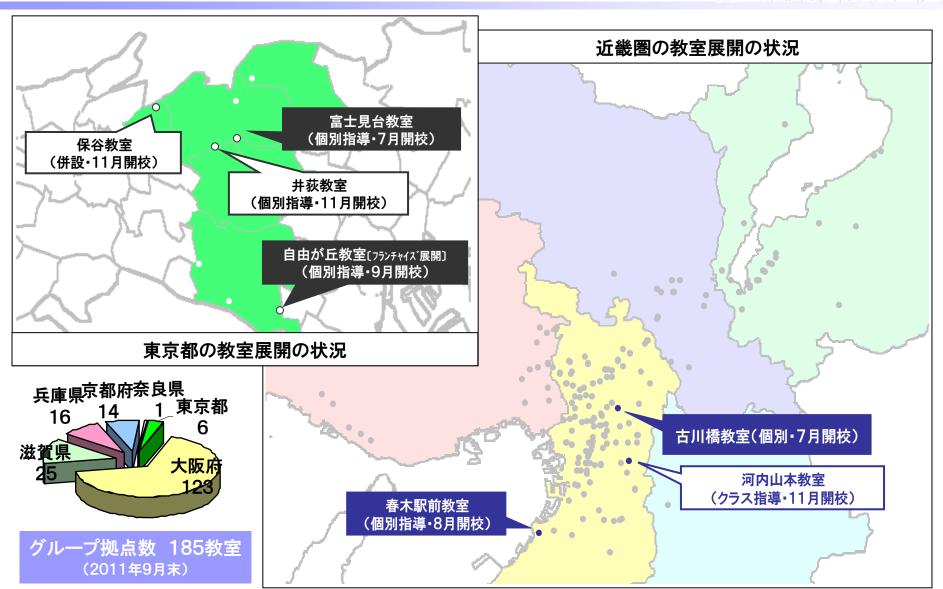
			中間実績	通期計画
前期末拠点数			18	2
新規	近畿	巻	2	7
教室	首都	圏	1	5
単	独	化	_	4
閉鎖	負 拠	点	_	4
期末	拠点	数	185	194

### 期初計画通りの新規教室の展開となる見込み

- ・近畿圏は、計画通りの新規開校となることが ほぼ確定
- 首都圏は、7月に1教室を開校、下期に2教室 の新規開校を決定
- ・3月に大阪府の4教室(併設1・個別指導3)を 閉鎖することを決定

# 教室展開の状況





# 教室展開の状況(部門別)



#### 【クラス指導部門】

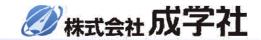
			中間実績	通期計画
前期	末 教 室	数	96	6
新規	近畿	巻		4
教 室	首 都	圏	_	3
閉	 溑 教	室	_	1
期末	教 室	数	96	102

### 【個別指導部門】

			中間実績	通期計画
前期末教室数			14	3
新規	近畿	巻	2	7
教室	首 都	圏	1	5
閉	鎖 教	室	_	4
期末	教室	数	146	151



# 貸借対照表



						【単位:百万円】
					12/3(2Q)	11/3
沅	ii.	動	資	産	1,628	1,707
	現	金 及	び預	金	933	911
	営	業未	収入	金	425	463
	商			品	30	41
1	1	定	資	産	3,439	3,476
	有	形固	定 資	産	2,205	2,231
	無	形固	定 資	産	176	192
	投	資その	他の資	產	1,057	1,053
負	į			債	3,568	3,723
	有	利	子負	債	1,981	1,943
	未	<b>‡</b>	4	金	157	317
	未	払 法	人 税	等	115	204
糸	ŧ	資	Ş.	産	1,499	1,460
糸	公心	資	£ .	産	5,067	5,184

#### >流動資産

・営業未収入金、商品(教材等)の多い3月 の特殊性がなくなり、営業未収入金は前期 末比△37百万円、商品は同△10百万円

#### ▶固定資産

・上期は教室開校が少ないことから、投資額よりも償却額が上回り、有形固定資産は前期末比△26百万円

#### >負債

- ・有利子負債は、短期借入金が増加したこと により前期末比+38百万円
- 未払残高の多い3月の特殊性がなくなり未 払金は前期末比△160百万円

#### >純資産

利益剰余金の増加により純資産は前期末 比+39百万円

### キャッシュ・フロー計算書



678

		【単位:百万円】
	12/3(2Q)	11/3(2Q)
営業活動によるキャッシュ・フロー	95	471
投資活動によるキャッシュ・フロー	Δ120	Δ267
財務活動によるキャッシュ・フロー	Δ7	△144

- ▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー 前中間末比△376百万円
  - 税金等調整前四半期純利益

+126百万円

845

仕入債権、未払金、未払費用の減少額 △384百万円

現金及び現金同等物の期末残高

- 特別損失計上によるキャッシュフロー増加額 △117百万円
- ▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー 前中間末比+147百万円
  - 有形固定資産の取得による支出

+144百万円

(前中間末は11月末であるため、9月末時点よりも新規教室開校の進捗がすすんでいる)

- ▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー 前中間末比+136百万円
  - 短期借入金の純増減額

+200百万円

# 通期業績見通し



【単位:百万円、%】

			第2四半期	通期見通し	売上高比率	前年比
売	上	高	3,905	8,365	100.0	+8.0
営	業	<b>浏</b> 益	189	466	5.6	△5.1
経	常和	<b>浏</b> 益	170	418	5.0	△10.7
当	期純	利益	63	169	2.0	+68.2

#### > 売上高

塾生数および売上高は好調に推移していることから、期初計画を達成する見込み

#### > 利益

- 冬期講習、新春にかけて教室展開を予定
- ・ 来期は創業30周年を迎えることから、積極的に広報活動を行う予定

# セグメント別売上高



【単位:百万円、%】

							第2四半期	通期見通し	構成比	前年比
教	育	関	連		事	業	3,787	8,131	97.2	+8.5
ク	ラ	ス	指	導	部	門	1,681	3,677	44.0	+7.3
個	別	指	導	争	部	門	2,097	4,448	53.2	+9.6
その				他	9	4	0.1	△39.8		
不	動	産	賃	貸	事	業	28	53	0.6	Δ8.0
飲		食	;	事		業	89	180	2.2	△4.4

#### > クラス指導部門

- 低価格帯の塾生が多くなっており、1人当たり単価が下落傾向
- 受験にむけた取り込みを積極的に行い、受講講座数の増加、単価上昇につなげる

#### > 個別指導部門

- 夏期特別授業も好調に推移し、塾生数の底上げに成功
- いつでも入塾できる個別指導部門の特徴を活かし、さらなる塾生数増加を図る
- > 不動産賃貸事業、飲食事業については、上期の趨勢を維持し、計画達成を図る

# ブランド別売上高



【単位:百万円、%】

			【千匹・日の口、/0】
	第2四半期	通期見通し	前年比
クラス指導部門合計	1,681	3,677	+7.3
開成教育セミナー	1,286	2,803	+8.8
エール進学教室	61	129	+4.7
京大セミナー	223	488	+0.7
F E L I X	91	224	+10.3
そ の 他	17	31	△17.4
個 別 指 導 部 門 合 計	2,097	4,448	+9.6
フリーステップ・ソフィア	1,840	3,847	+7.6
代ゼミサテライン予備校	153	413	+31.4
アイナック	101	180	+8.4
そ の 他	1	7	+76.7

(クラス指導部門の「その他」は主に学校法人等への派遣事業、個別指導部門の「その他」は家庭教師派遣事業等を示す)

# 費用内訳



【単位:百万円】

									第2四半期	通期見通し	売上高比率	前年比
人			1	<b>4</b>				費	1,995	4,137	49.5	+9.0
家							,	賃	579	1,192	14.2	+6.9
教	室	等	設(	備 找	殳 〕	資	費	用	65	159	1.9	Δ3.3
広		告	]		1	云		費	154	511	6.1	+36.4
そ	(	の	f	也	Ī	費		用	920	1,898	22.7	+5.4
売上	: 原 (	西•	販う	も管	理	費	合	計	3,716	7,899	94.4	+8.9

#### > 人件費

売上高が計画を上回る傾向にあることから、人件費も上振れる可能性あり

#### > 教室等設備投資費用

- 通期で計画している新規開校の多くを新年度に合わせて下期に実施
- 既存教室の拡大等の設備投資需要あり

#### > 広告宣伝費

- 創業30周年にむけて積極的な広報活動を実施予定
- > その他の費用については、概ね期初計画通りに推移することが見込まれる

# 配当予想

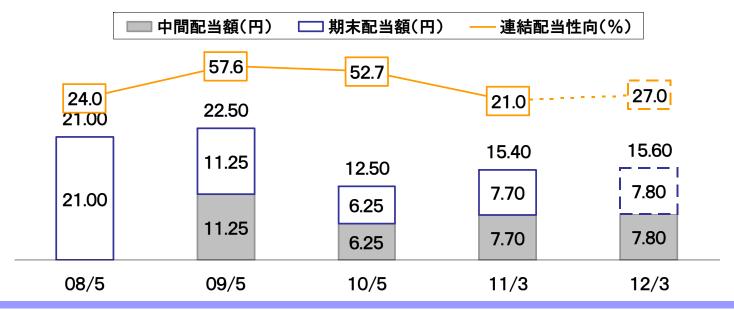


### 【配当の基本方針】

長期にわたる安定基盤の確立に努めるとともに、 連結配当性向25%程度の配当を目安とし、継続的かつ安定的な配当を実施

- > 12/3期は当初予想より増配を予定(年間14円60銭から15円60銭へ)
  - 中間決算では計画を上回る利益を上げたこと
  - 前期は変則決算で利益水準が高くなることから連結配当性向を21%に抑えたこと
  - 株主還元と安定的な配当を実施すべく前期を上回る配当を予定

#### 【配当額と連結配当性向の推移】



# 本資料について



本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。 そのため、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご留意ください。

<問い合わせ先>

株式会社成学社 管理部

〒530-0015 大阪市北区中崎西3-1-2

TEL 06-6373-1595 FAX 06-6373-1579